

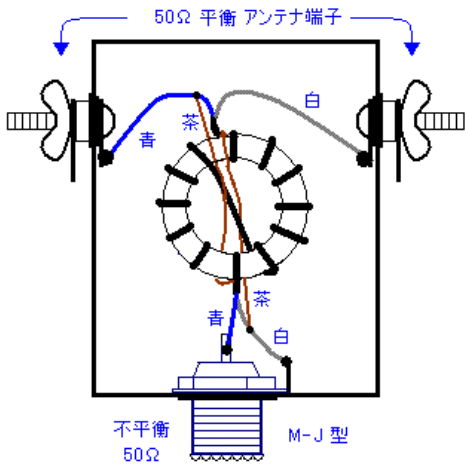
アンテナバラン 組立部品セット DB-50H-v2

50Ω 不平衡 1:1 平衡 1MHz~50MHz
 許容入力電力：連続 100W / CW 200W / SSB 300W
 サイズ 50W × 75H × 30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

50Ω 1:1 バランの作り方

- ①、コアの巻き方の通り、0.5mm 7本組被膜線を、コアに、12回巻きます
- ②、巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
- ③、プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- ④、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑤、接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

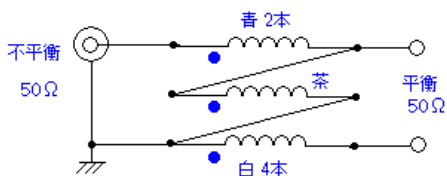
構成図



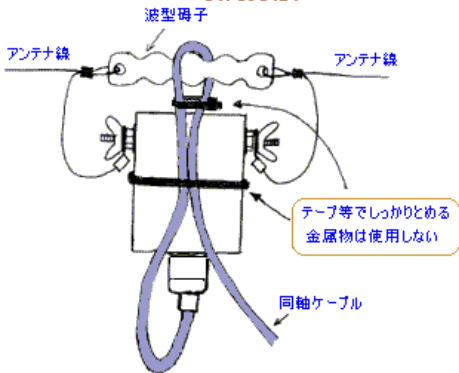
組立完成例



回路図



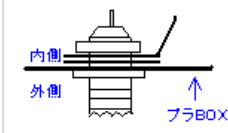
バラン取付方法



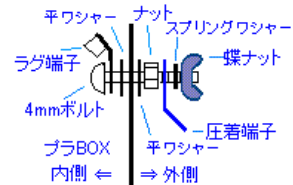
部品表

フェライトコア 2643801002---1
0.5mm7本皮膜より線60cm---1
M型接柱座 M-BR---1
ステンボルトナットワッシャー
蝶ナット、ラグ端子---2組
プラボックス---1
波型端子---1
結束バンド---2

同軸接柱座MBRの取付方

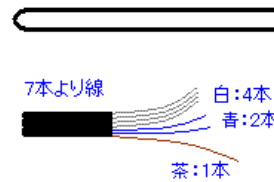


アンテナ端子取付方法

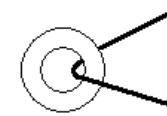


コアの巻き方

1. 7本より線を半分で折り返します



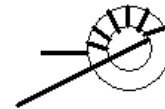
2. 7本より線をコアに約半分の長さで通します



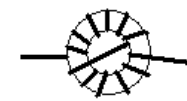
3. 半分の7本より線を6回巻きます (コア内通過数)



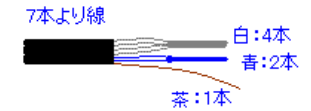
4. もう片側半分の7本より線を図のように反対側に引張ります



5. 同様に6回巻きます (コア内通過数) 合計12回巻きます

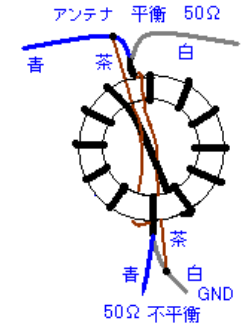
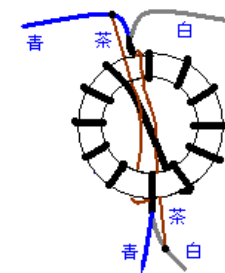
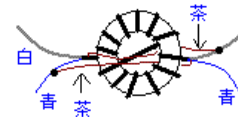


6. 端末処理
コアに巻いた7本より線の両端とも、下記のように結線ねじり合わせます
白4本組、青2本組、茶1本を結線し、ねじり合わせます

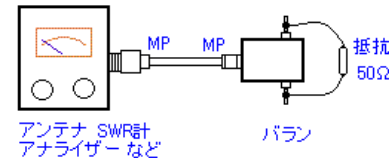


7. 端末配線

茶線は、下図のように巻き始め、巻き終わりを交互して 不平衡側の白線と平衡側の青線と接続します



SWR測定方法



抵抗は短く接続します (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

コア完成例



有限会社 大進無線
 〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
 TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
 E-mail info@ddd-daishin.co.jp